

企画展

戦国の雄 池田家

平成23年10月30日(日) — 12月25日(日)



池田恒興
十二月 日 亥 三 日

横田信長判物 池田恒興宛(部分)



池田恒興画像(部分)

月曜日休館

開館時間●9時～17時(入館受付は16時30分まで)

入館料●一般500円 高校生300円 小・中学生無料、
友の会会員無料

※団体(20名様以上)、シルバーカード・障害者手帳提示の方 2割引

主催●財団法人 林原美術館

後援●岡山県郷土文化財団、山陽新聞社、NHK岡山放送局、RSK山陽放送

ギャラリートーク●毎週土曜日 14時から(ただし11月26日はスペシャル
ギャラリートークを開催します。)

林原美術館

〒700-0823 岡山市北区丸の内2-7-15 TEL(086)223-1733
<http://www.hayashibara-museumofart.jp>

企画展 戦国の雄 池田家



池田利隆画像



雲居希膺賛 狩野尚信画



池田輝政画像

池田恒興画像（鳥取県立博物館所蔵）
（展示期間：10月30日～11月27日）

本展では、備前池田家誕生に至る戦国時代の池田恒興や輝政、利隆といった池田家の武将の書状や武具などの所用の品々を展示し、その活躍を振り返ります。

岡山藩主池田家の礎は、戦国時代に織田信長（1534～1582）の乳母になった養徳院（1515～1608）と、その息子で信長の乳兄弟として活躍した戦国武将の池田恒興（1536～1584）によって築かれました。天正10年（1582）に本能寺の変で信長が倒れた後は、恒興は豊臣秀吉とともに山崎合戦で明智光秀を破り、織田家の重臣となっています。しかし天正12年（1584）に秀吉と徳川家康が戦った小牧・長久手の戦いで、恒興は秀吉方につくも

志半ばで戦死してしまいます。秀吉は息子を失った養徳院に何度も書状を送って慰めており、秀吉の計らいにより、恒興の次男の輝政が家督を継ぎました。輝政は徳川家康の娘婿でもあったため、慶長5年（1600）の関が原の合戦では徳川方につき武功をあげ、姫路城主となり近世の池田家繁栄の基盤を築きました。

当館所蔵の池田輝政・利隆画像（雲居希膺賛 狩野尚信画）と池田恒興画像（鳥取県立博物館所蔵）は、本来は一組だったものと考えられ、本展で約350年ぶりに三幅が一堂に揃います。これらの資料を通じて、戦国時代の池田家の雄姿に思いをはせていただければと思います。



黒塗黒糸威頭形兜 池田輝政所用



梨子地泊蝶紋鞍 池田輝政所用

林原美術館

HAYASHIBARA MUSEUM OF ART

〒700-0823 岡山市北区丸の内2-7-15 TEL(086)223-1733 FAX(086)226-3089

http://www.hayashibara-museumofart.jp

* 車椅子対応の設備あります。

交通/JR岡山駅から徒歩25分/路面電車〔東山行〕県庁下車徒歩7分

岡電バス〔岡電高屋行〕県庁前下車徒歩3分

宇野バス〔瀬戸駅前行・四御神行〕県庁前下車徒歩3分



次回予告

企画展「うるわしきうるしの美」

平成24年1月7日(土)～3月4日(日)

日本を代表する工芸品である「漆」。「うるわしい」「うるおす」との語源を持つといえます。本展覧会では館蔵品の漆工芸品を中心に展覧し、初春を慶ぶとともに、日本美術の一端をうかがいたいと思います。